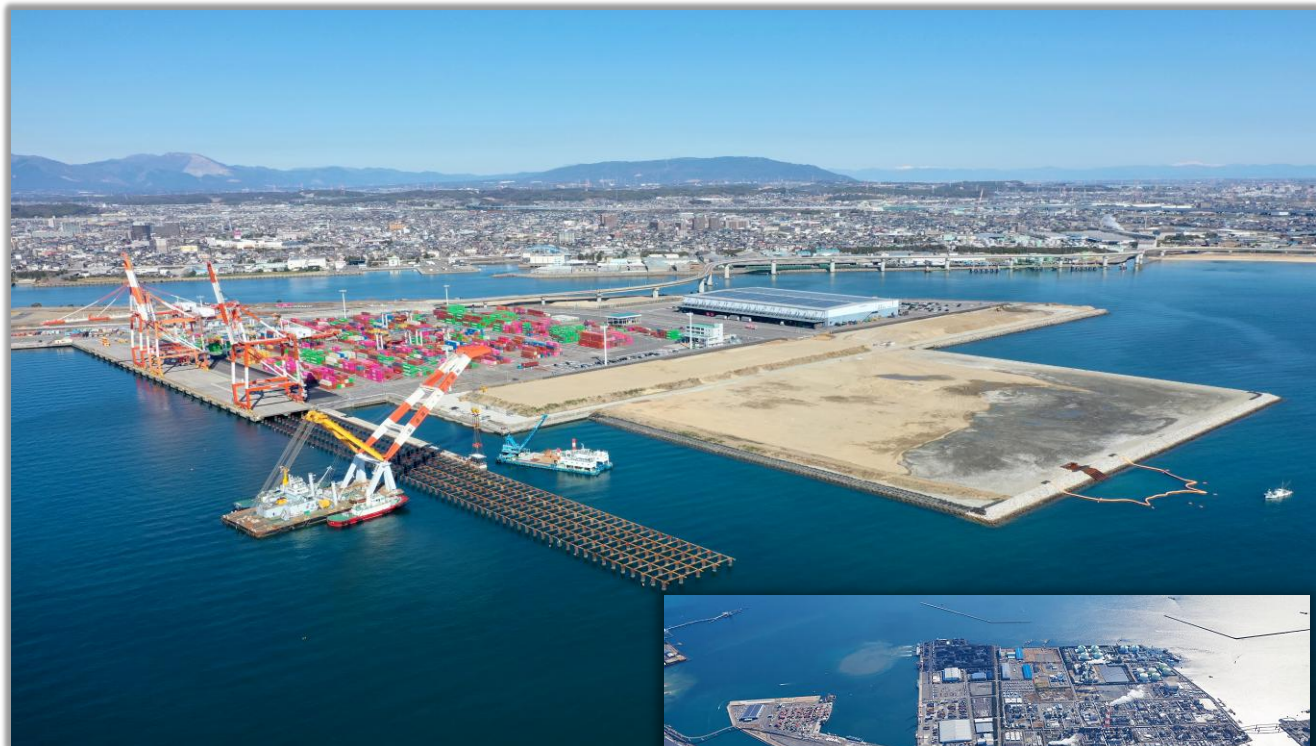
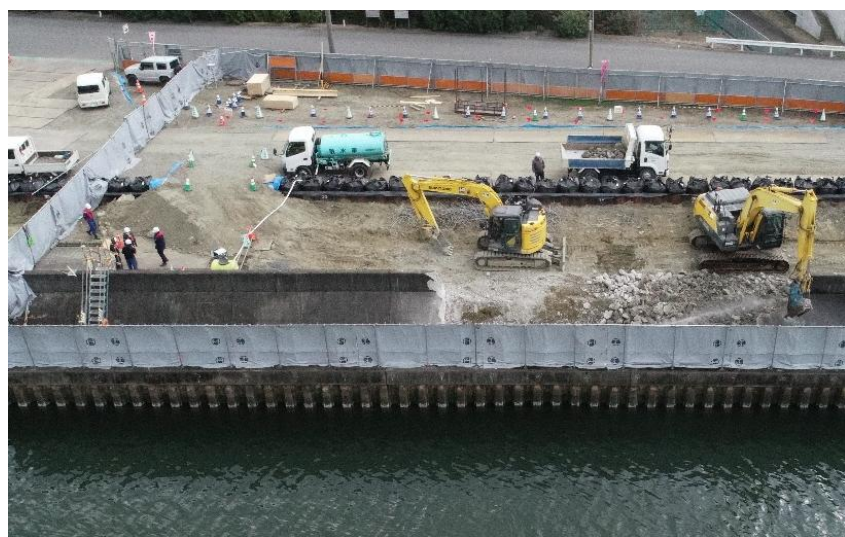


# 2026年度 事業概要

霞ヶ浦北心頭地区 W81岸壁 土留本体据付工



四日市港  
霞ヶ浦地区



海岸保全施設整備事業 塩浜地区 構造物撤去工及び本體工



国土交通省 中部地方整備局



四日市港湾事務所

# <三重県内の港湾位置図>



出典: 三重県HP 三重の港湾

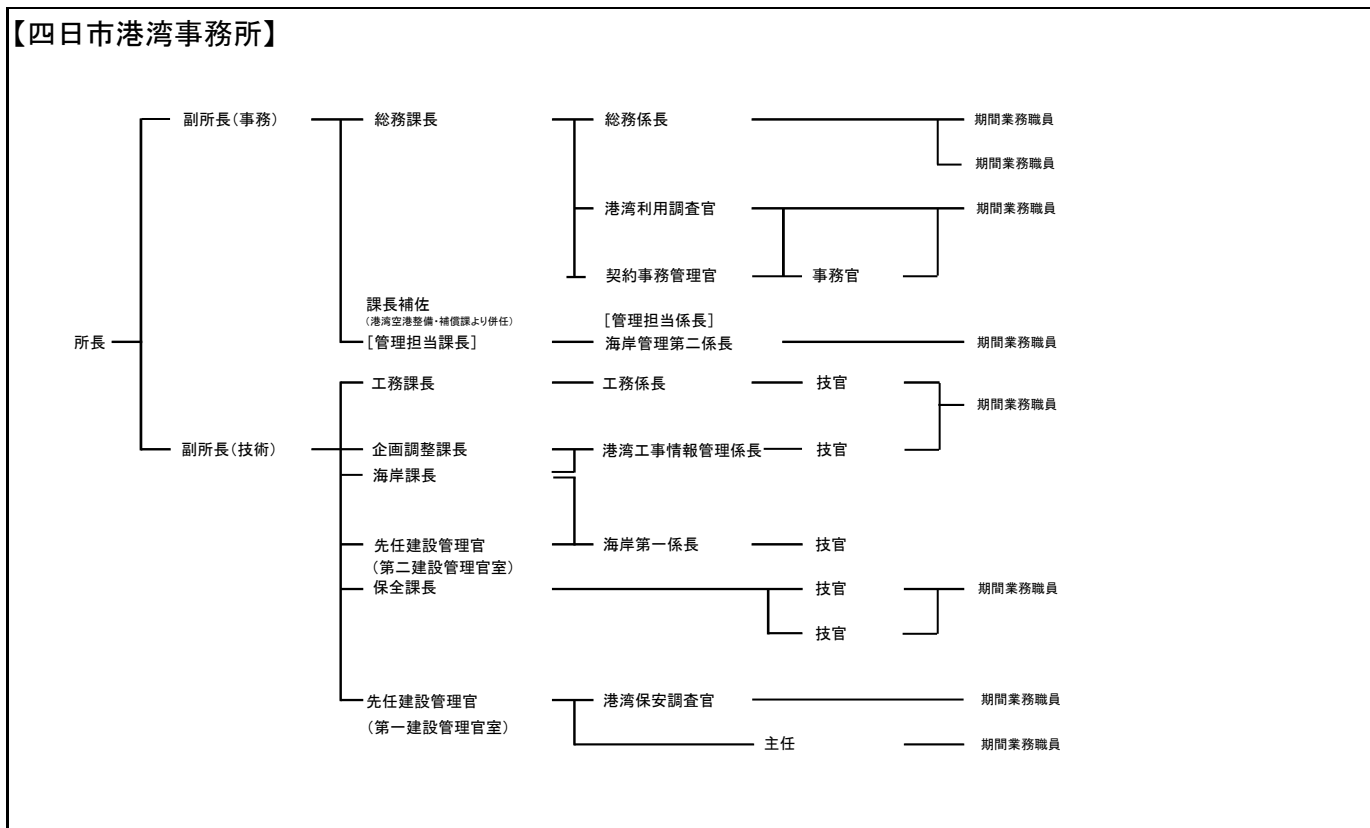
# <予算・組織について>

## (1) 令和7, 8年度予算

(単位:千円、工事費ベース)

| 事業内容      | 費目                     | 令和7年度予算          |                  | 令和8年度予算          | 伸び率           |
|-----------|------------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
|           |                        | 【当初】             | 【補正】             | 【当初】             | R8当初<br>/R7当初 |
| 港湾事業      | 港湾改修費                  | 1,787,000        | 3,720,000        | 1,881,000        | 1.05          |
|           | 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業 | 1,587,000        | 3,540,000        | 1,860,000        | 1.17          |
|           | 予防保全事業                 | 200,000          | 180,000          | 21,000           | 0.11          |
|           | 貸付国有港湾施設整備事業費          | 40,000           | 0                | 39,000           | 0.98          |
|           | <b>小計</b>              | <b>1,827,000</b> | <b>3,720,000</b> | <b>1,920,000</b> | <b>1.05</b>   |
| 海岸事業      | 海岸保全施設整備事業費            | 570,000          | 30,000           | 570,000          | 1.00          |
|           | 四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業     | 570,000          | 30,000           | 570,000          | 1.00          |
|           | <b>小計</b>              | <b>570,000</b>   | <b>30,000</b>    | <b>570,000</b>   | <b>1.00</b>   |
| <b>合計</b> |                        | <b>2,397,000</b> | <b>3,750,000</b> | <b>2,490,000</b> | <b>1.04</b>   |

## (2) 四日市港湾事務所の組織体制



【行(一)26名、期間業務職員8名 = 全34名】

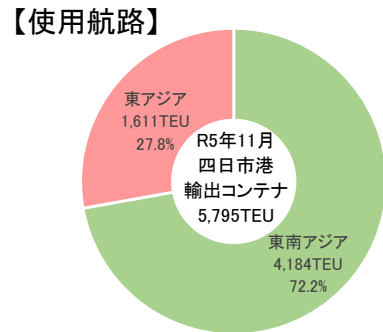
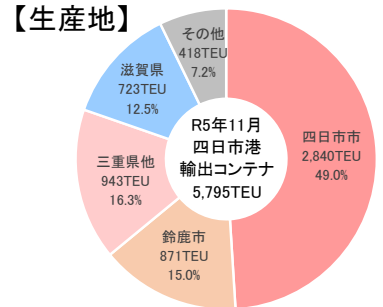
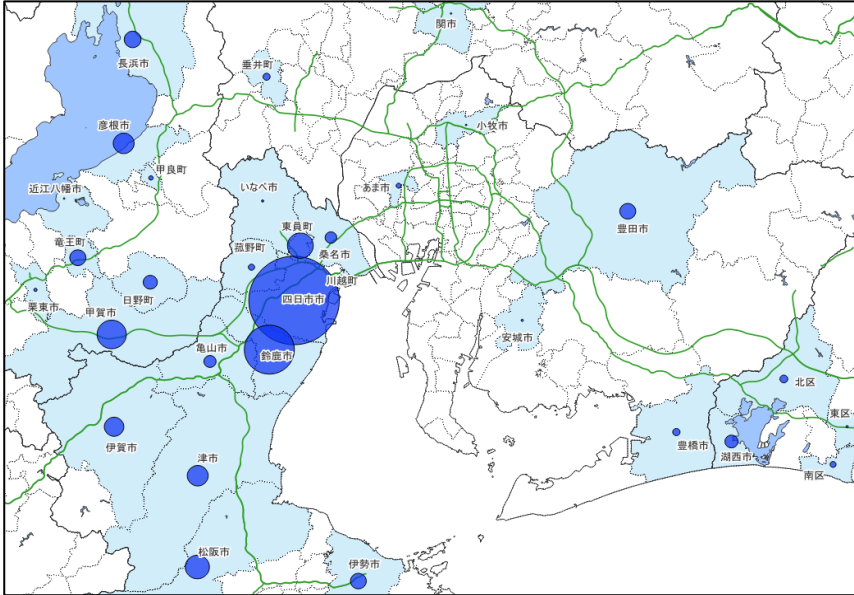


# ■コンテナ貨物の四日市港背後圏流動状況

## 1) 四日市港利用の輸出コンテナの生産地分布

四日市港利用の輸出コンテナの生産地分布をみると、三重県内からの輸出が約8割を占めており、このうち四日市市が2,840TEU/月（2023年11月）と49.0%、次いで鈴鹿市が871TEUと15.0%を占めています。

三重県以外からは滋賀県彦根市や竜王町からの輸出で、四日市港輸出の12.5%を占めています。  
**【四日市港を利用する輸出コンテナ貨物量の生産地分布(2023年11月)】**

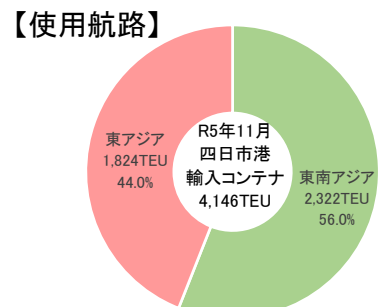
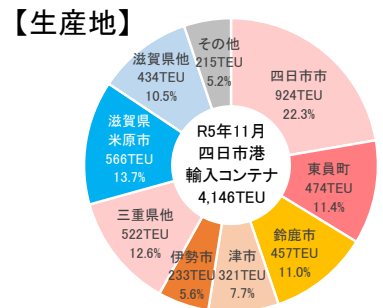
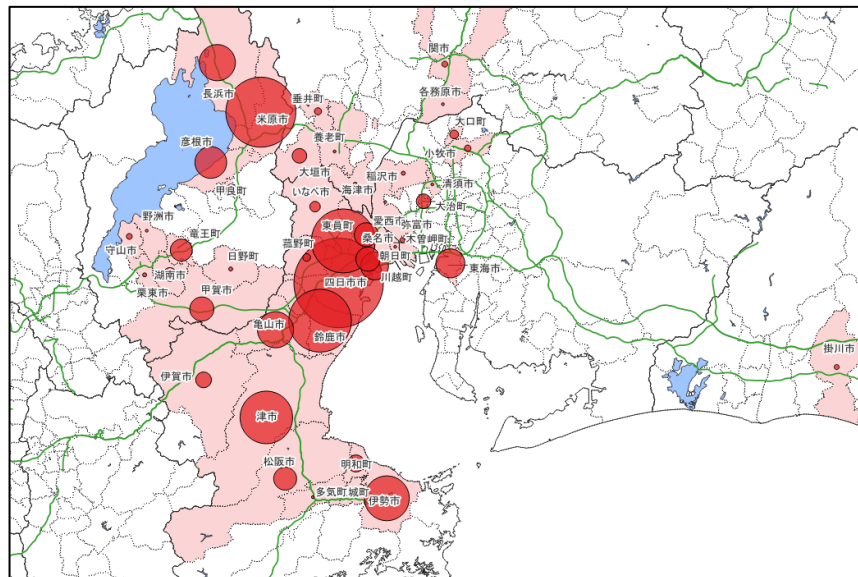


## 2) 四日市港利用の輸入コンテナの消費地分布

四日市港利用の輸入コンテナの消費地分布をみると、三重県内への輸入が約7割を占めており、このうち四日市市が924TEU（2023年11月）と22.3%、次いで東員町が474TEUと11.4%を占めています。

三重県以外では滋賀県への輸入が多く、四日市港利用コンテナの約2割を占めており、米原市への輸入は566TEUと四日市港利用輸入コンテナの13.7%を占めています。

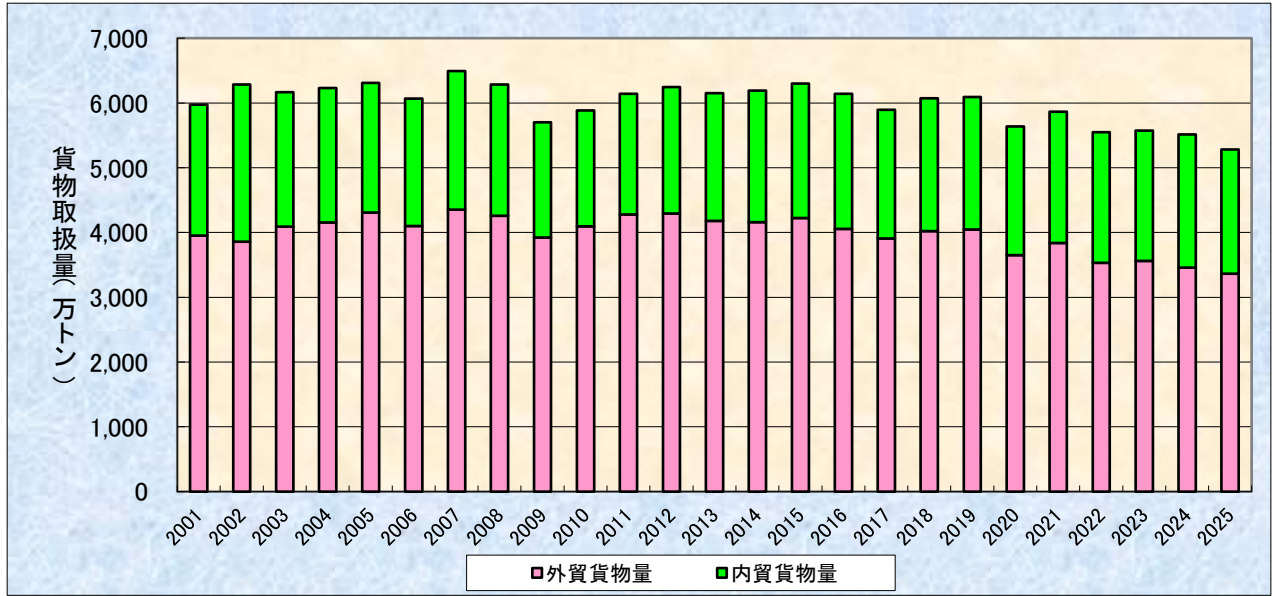
**【四日市港を利用する輸入コンテナ貨物量の消費地分布(2023年11月)】**



出典：令和5年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査

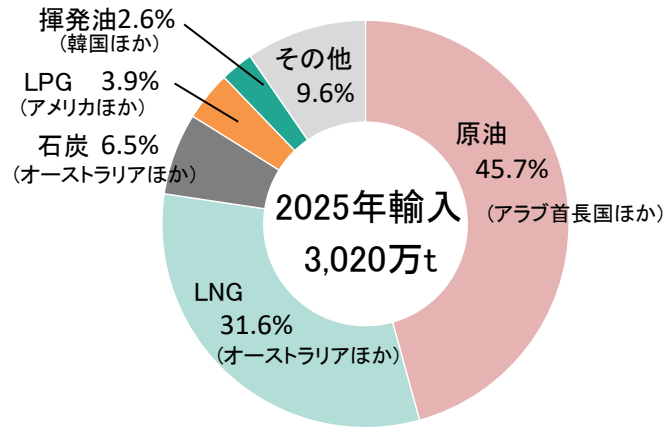
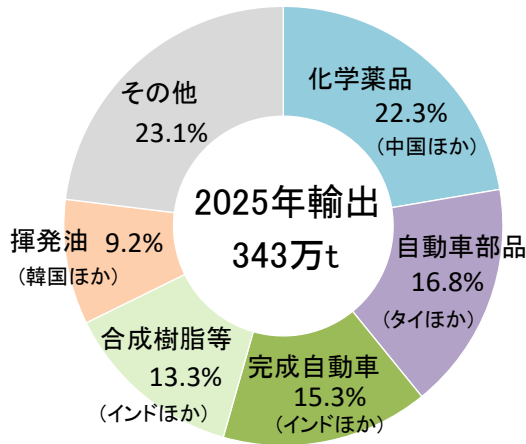
# ■四日市港の取扱貨物量

## 1) 海上出入貨物量の推移



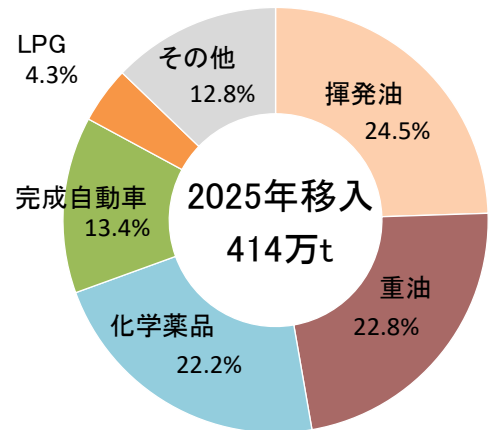
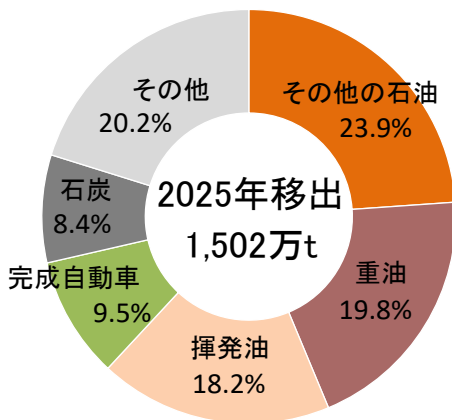
## 2) 外国貿易貨物の品種別内訳（2025年（令和7年））

出典：四日市港統計2025年速報



## 3) 国内貿易貨物の品種別内訳（2025年（令和7年））

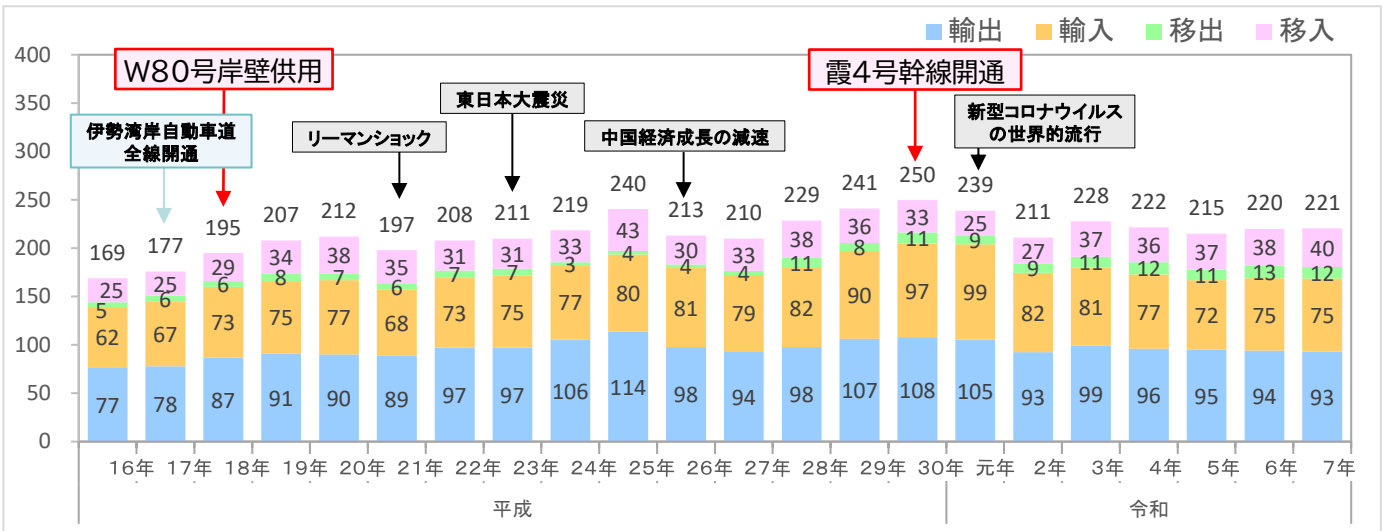
出典：四日市港統計2025年速報



出典：四日市港統計2025年速報

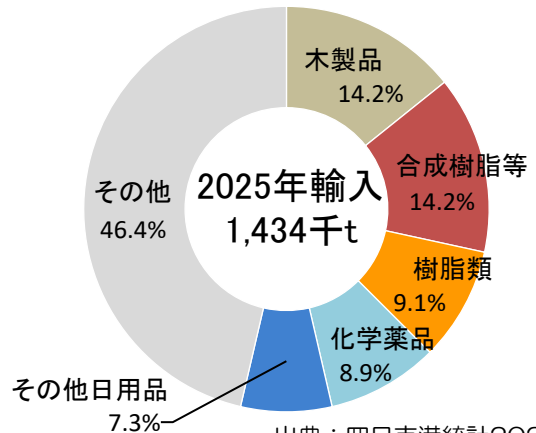
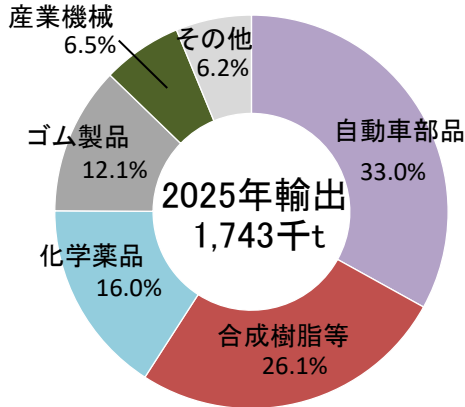
#### 4) コンテナ貨物量の推移

コンテナ取扱個数（千TEU）



出典：四日市港統計2025年速報

#### 5) 外貿コンテナ貨物の品種別内訳（2025年（令和7年））



出典：四日市港統計2025年速報

#### 6) 外航コンテナ定期航路

四日市港の外貿コンテナ定期航路網 13サービス（2026年（令和8年）4月7日時点）

| 区分                 | 航路(目的地)                         | 便数(曜日)   | 船社名                                      |
|--------------------|---------------------------------|----------|--|
| 韓国                 | 韓国                              | 週1便(木)   | Pan Con<br>*CK Line、Heung-A、KMTC、DONGJIN |
|                    |                                 | 週1便(金)   | KMTC<br>*CK Line、Pan Con                 |
|                    |                                 | 週1便(木)   | Pan Ocean                                |
| 中国                 | 中国(渤海湾)                         | 週1便(水-木) | SITC                                     |
|                    | 中国(上海)                          | 週1便(水)   | COSCO                                    |
| 東南アジア              | 中国・台湾・香港・ベトナム                   | 週1便(土-日) | Evergreen Line                           |
|                    | 中国・台湾・シンガポール・マレーシア              | 週1便(水-木) | Evergreen Line                           |
|                    | 台湾・香港・タイ                        | 週1便(土)   | Wan Hai Lines                            |
|                    | 中国・台湾・シンガポール・インドネシア             | 週1便(水)   | OOCL *COSCO                              |
|                    | 韓国・中国・ベトナム                      | 週1便(月-火) | SITC                                     |
|                    | 韓国・フィリピン                        | 週1便(日)   | ONE *HMM                                 |
| ベトナム・シンガポール・インドネシア | 週1便(火)                          | ONE      |  |
|                    | 韓国・中国・台湾・シンガポール・スリランカ・ケニア・タンザニア | 週1便(水)   | MSC                                      |

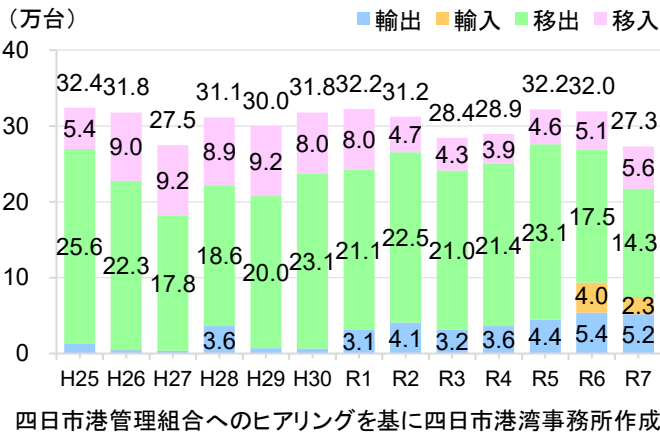


※印はスペースチャーター、スロットチャーター

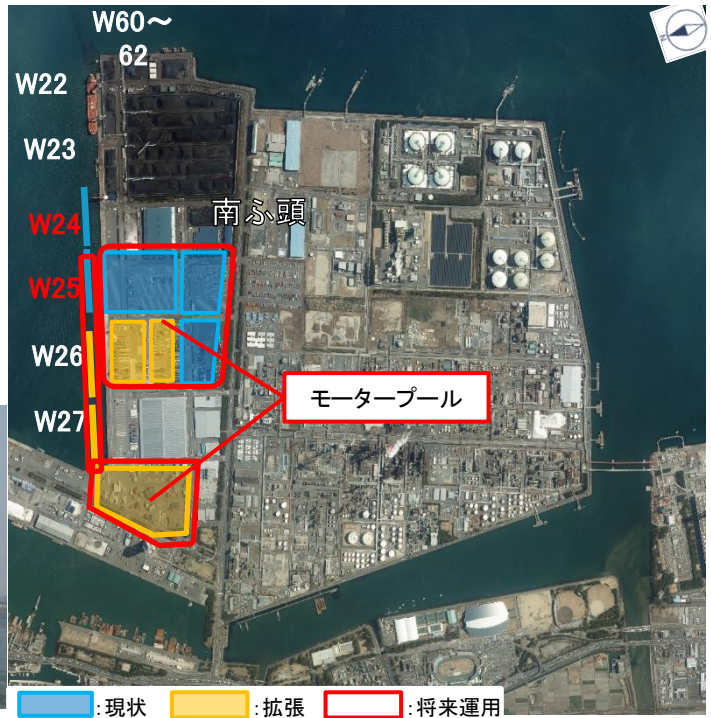
出典：四日市港管理組合ホームページ「四日市港コンテナ定期航路網」

## 7) 完成自動車の取扱状況

【完成自動車取扱量の推移】

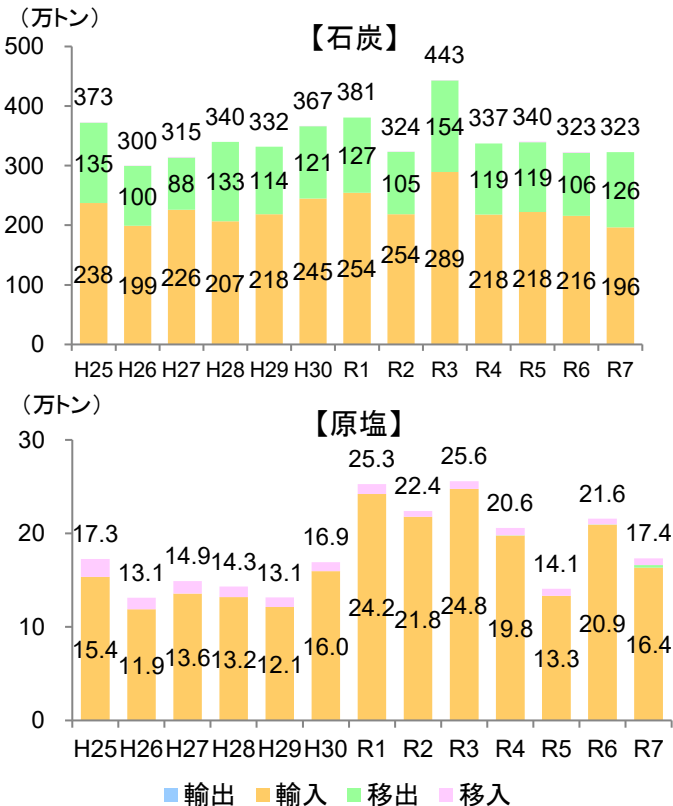


W24、W25岸壁に2隻同時に着岸する自動車輸送船



## 8) エネルギー関連等貨物の取扱状況

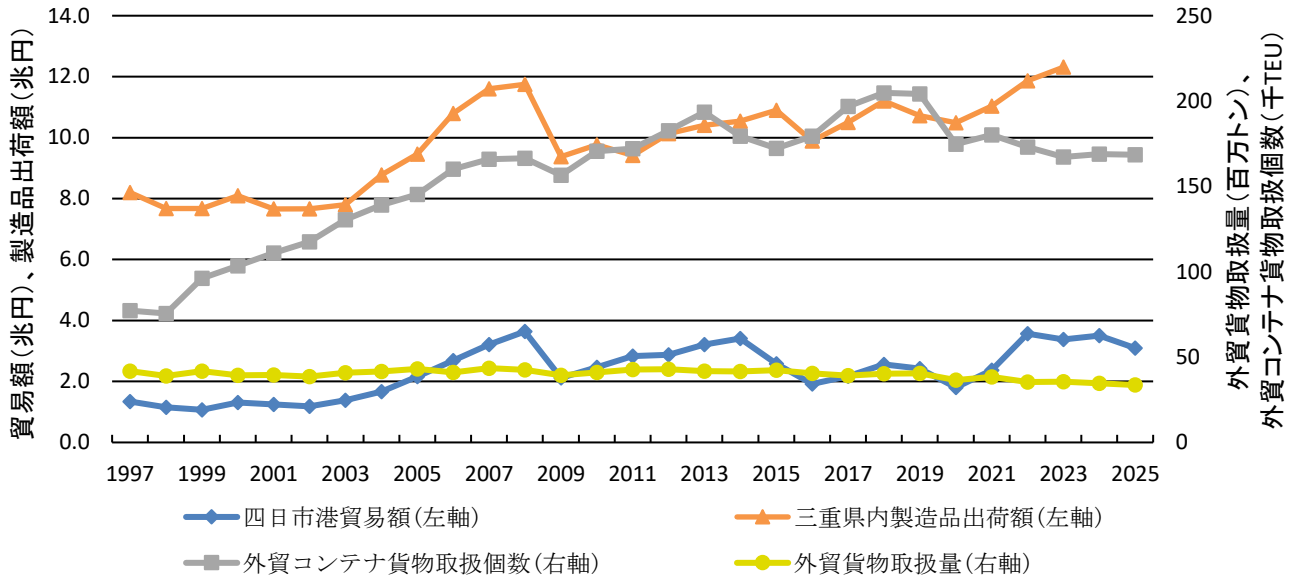
【主なエネルギー関連等貨物取扱量の推移】



— : 現状 ※W60-62は石炭移出用に利用

# <四日市港の経済効果>

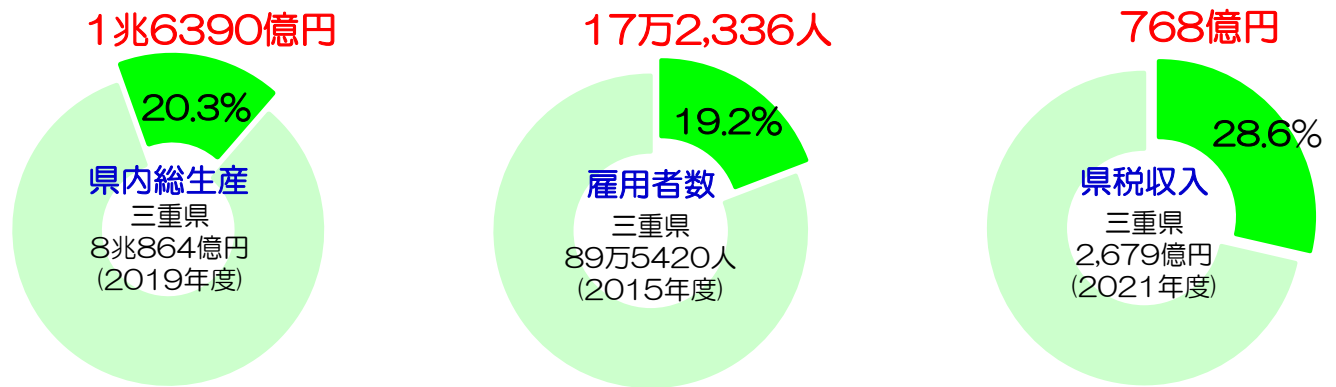
四日市港が地域経済にもたらす効果は多岐にわたっています。例えば、港湾が存在することにより、港湾に関わる企業や周辺に立地する企業などに勤める人々が商品やサービスを購入するほか、企業自身が設備投資を行ったり、港湾を通じて海外への輸出や県外への移出を行ったりするなど、さまざまな需要が生み出されています。そうした需要は、それに関わる産業の生産を生み、さらに、その産業の資材やサービスの購入が他産業の新たな生産を呼び起こすなど、効果が他部門へと波及していきます。



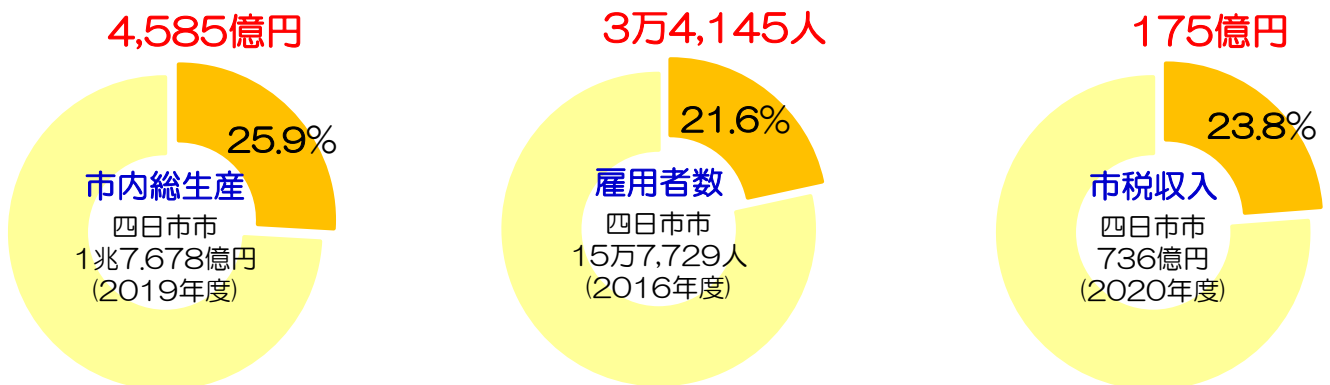
出典：貿易統計、経済構造実態調査（旧工業統計）、四日市港統計2025年速報より整理

※三重県内製造品出荷額は2021年まで工業統計、2022年から経済構造より整理（2023年が最新）

## ■三重県にもたらされた経済効果



## ■四日市市にもたらされた経済効果



出典：四日市港と地域経済（令和4年度四日市港経済効果調査の概要）／四日市港管理組合

# <港湾事業>

## ■ 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

### 1. 事業の必要性及び概要

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、霞ヶ浦地区において、国際物流ターミナルの整備を行います。

- ・整備施設：岸壁（水深14m）（耐震）、泊地（水深14m）、臨港道路、ふ頭用地、荷役機械
- ・事業期間：令和3年度～令和12年度
- ・総事業費：583億円（うち港湾整備事業費370億円）

### 2. 事業箇所

三重県四日市市

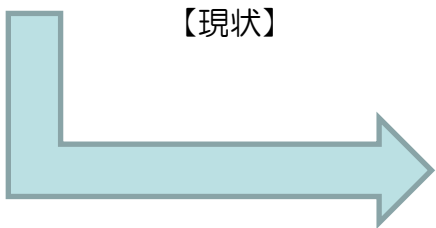
### 3. 令和8年度事業予定内容及び現在の実施状況

令和7年度は基礎工事、土留本体据付工事、裏込工事および被覆工事を行いました。

令和8年度には土留本体据付工事、裏込工事、被覆工事および上部工事等を行う予定です。



【現状】

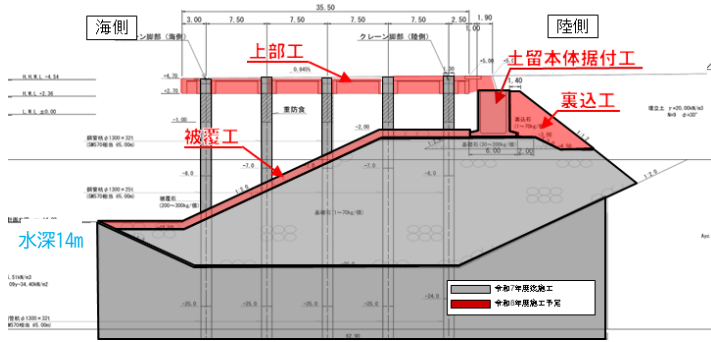


【整備後】

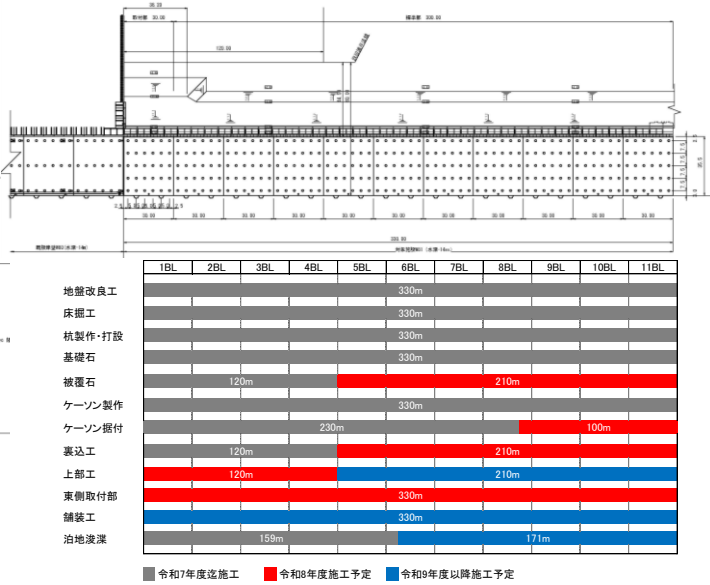
霞ヶ浦北ふ頭へコンテナ機能の集約化



## 4. 岸壁の構造及び整備状況

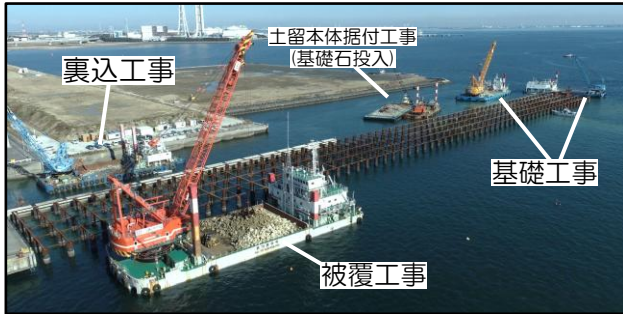


【岸壁標準断面図】



【岸壁平面図と整備状況】

## 5. 施設整備の様子



【捨石投入(基礎工、被覆工、裏込工)の様子】



【土留本体据付工事(ケーソン据付)の様子】

## 6. コスト削減の取り組み ～河川事業との連携～

港湾事業（四日市港湾事務所）と河川事業（三重河川国道事務所）が連携し、地盤改良に必要な砂材の一部として、近隣の鈴鹿川で発生する河道掘削砂を活用しました。令和3年6月25日に文書を取り交わして受入開始し、地盤改良で必要な砂 約21.5万m<sup>3</sup>のうち、約8.5万m<sup>3</sup>を受入しました。

またケーソン中詰材についても流用砂を活用しており、全体で約5千m<sup>3</sup>を受入・使用する予定です。

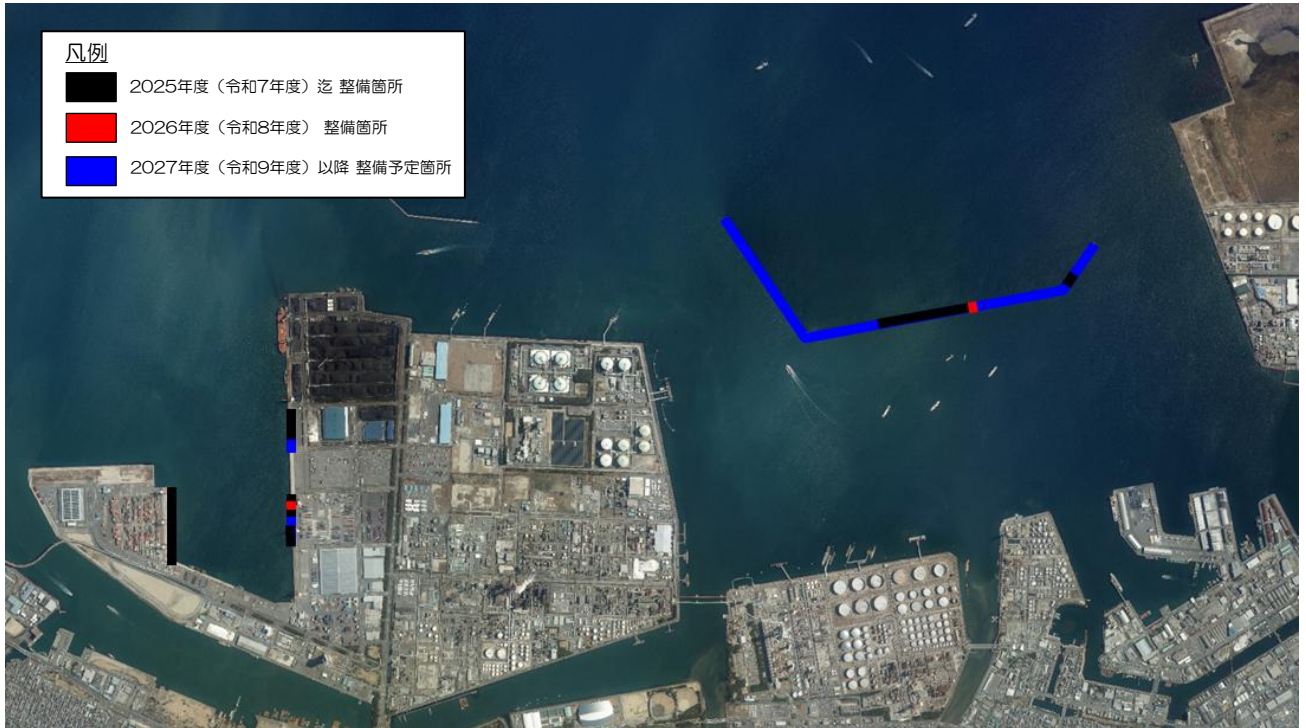
※環境へ配慮のため、瀬戸内海の多くの地域で海底砂の規制が進むなど、近年、砂の供給が課題となっている



## ■国有港湾施設の長寿命化の推進

今後、建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなり、社会資本の老朽化にともなうメンテナンス対策費用の増加が懸念されています。厳しい財政状況等の情勢を踏まえつつも施設機能を安定的に確保するためには、戦略的に維持管理を行っていくとともに、予防保全の徹底による維持管理・更新にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る必要があります。

四日市港では、2011年～2016年度（平成23～28年度）に係留施設10施設、外郭施設1施設を対象として、上部工等の損傷状況、空洞化の有無や潜水土による鋼材腐食状況などの点検を行いました。その結果を踏まえ、令和8年度は東防波堤および26号岸壁の防舷材の取替を実施していきます。



国有港湾施設の長寿命化対策の状況

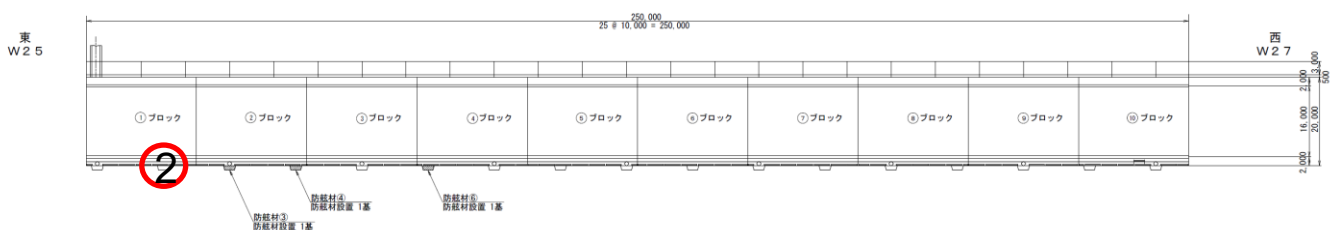
### 【令和8年度実施予定】

#### ■貸付国有港湾施設整備事業（施設の整備状況）

<四日市港 26号岸壁（H5年度年度建設）>

令和8年度は26号岸壁における防舷材の取替を実施します。

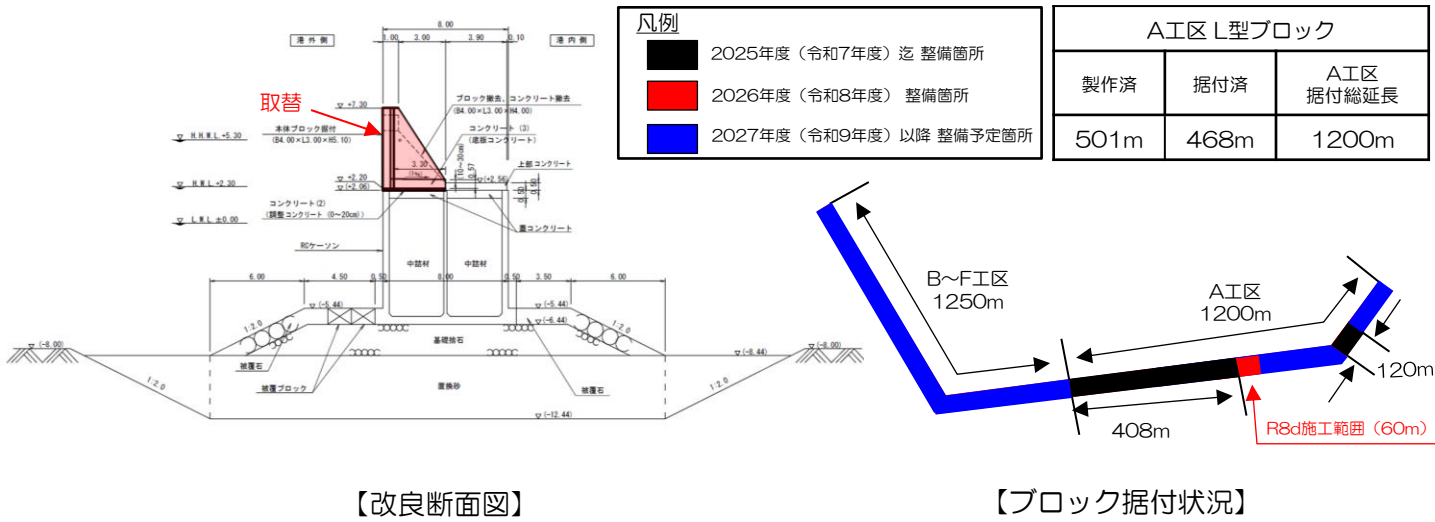
#### 26号岸壁の補修（防舷材取替）箇所および防舷材の損傷箇所



# ■ 予防保全事業（施設の整備状況）

## < 四日市港 東防波堤（S38年度建設） >

令和8年度はA工区における既設L型ブロックの撤去と新設L型ブロックの製作・据付を実施します。



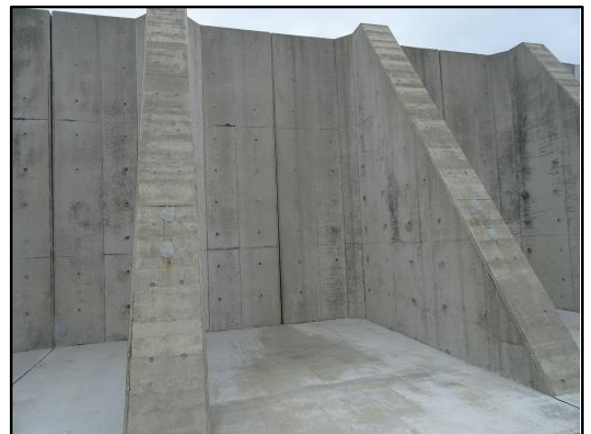
【改良断面図】

【ブロック据付状況】

R8d修繕工事内容（上部工：L字ブロック製作、L型ブロック据付（既設L型ブロック撤去→製作L型ブロック据付））



整備前  
（既設老朽化状況）



整備完了後



# <その他>

## ■港湾業務艇「四日市 庭浦」

### ■四日市庭浦の概要

四日市港湾事務所では、令和3年度新規採択された「霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業(W81)」や防波堤（東）などの 予防保全事業の実施に伴う海上工事が増加しました。また四日市港BCPなど直轄港湾事務所の港湾防災に対する役割等、港湾業務艇のニーズが増していることから、令和5年度より新たな港湾業務艇の建造に着手し、令和6年10月に「四日市庭浦」が完成しました。

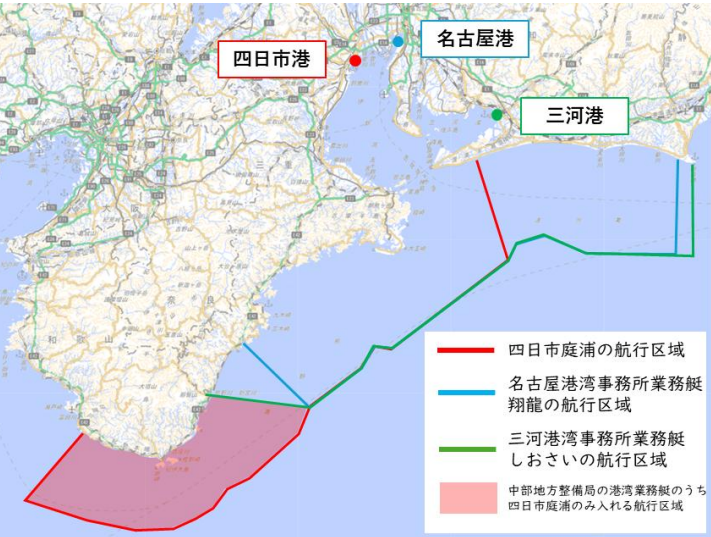


四日市 庭浦

### ■港湾業務艇の主な用途

港湾業務艇は、港湾整備事業等に伴う工事監督・検査、測量・調査等の実施に加え、国有港湾施設の劣化状況確認等の港湾の保全に係る調査に用います。ほか、災害発生時には航行区域内の港湾施設の点検、緊急物資輸送活動に関する支援の実施等も行われます。

### ■四日市庭浦の航行区域



### ■庭浦の基本情報

|          |       |                  |      |
|----------|-------|------------------|------|
| 船種および船名  |       | 汽船 四日市庭浦         |      |
| 船籍港又は定係港 |       | 三重県四日市市          |      |
| 交付       |       | 令和6年 10月 7日 (鳥羽) |      |
| 最大搭載人員   | 旅客    | 12人              | 計24人 |
|          | 船員    | 2人               |      |
|          | その他   | 10人              |      |
| 主要寸法     | 長さ/幅  | 17.40m/4.20m     |      |
|          | 深さ/喫水 | 1.90m/0.77m      |      |
|          | 総トン数  | 19トン             |      |
| 速力 (満載時) |       | 25kt             |      |

### ■災害時対応への活用 (災害時を想定した訓練の様子)

災害 (地震、洪水、土砂災害等) による道路の寸断等で志摩半島や離島で孤立した場合に、海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害支援を行うことを想定し、「四日市庭浦」を用いた各種訓練を実施しました。





# ■ 四日市みなとまちづくりの取り組み

令和3年11月、四日市地区みなとまちの将来像を「モノ・ヒトがともに集う出会い・憩い・賑わいのみなとまち よっかいち庭浦（仮称）」と定めた「四日市みなとまちづくりプラン〔基本構想〕」を策定しました。

「市民に寄り添い、訪れる人をもてなす「みなとまち『新たな四日市庭浦\*1』」を目指して、6つのプロジェクトと2つの継続的な取組を掲げ、四日市みなとまちづくり協議会\*2を中心にイベント等を開催し、みなとまちづくりの取組を進めています。

**\*1 四日市庭浦**… 1473年（文明5年）の外宮庁宣案に記載された地名。この時代から、既に「四」のつく日に定期市が開かれており、「四日市」という地名の由来とされている。

**\*2 四日市みなとまちづくり協議会**… 構成団体：四日市港利用促進協議会、四日市市、四日市港管理組合、**四日市港事務所**、四日市商工会議所



千歳運河賑わい想像プロジェクト イメージ



第1埠頭及び周辺地区再生プロジェクト イメージ

BAURA

今年も開催決定! Yokkaichi-**BAURA**ミーティング

第4回

10:00~16:00

稲葉倉記念公園 納屋防災緑地、他

※雨天中止

---

**水上アクティビティイベント**

運河でSUP体験 「ゆりかもめ」体験乗船

カヌー体験

プレジャーボート体験

**納屋防災緑地イベント**

美味しい+楽しいがっしょっしょ!

BAURAマルシェwithピザマル

クライミング体験

青空フィットネス

---

**BAURAの夜市**

2025.10.19 日

10:00~21:00

四日市港四日市地区

アクセスMAP

---

開催時間 10:00~21:00

場所 四日市港四日市地区

TEL: 059-352-8194

四日市みなとまちづくり協議会

BAURAについて

お問い合わせ

QRコード

会場MAP

会場MAP QRコード

1 納屋防災緑地イベント

2 運河でSUP体験

3 運河でカヌー体験

4 運河でプレジャーボート体験

5 プロムナードカフェ

6 納屋防災緑地イベント

7 BAURAマルシェ

8 青空フィットネス

9 納屋防災緑地イベント

10 水素エネルギーで遊ぼう

11 納屋防災緑地イベント

12 納屋防災緑地イベント

13 クライミング体験

14 BAURAで遊ぼう

15 BAURA de ライフ

BAURA

お問い合わせ

QRコード

会場MAP

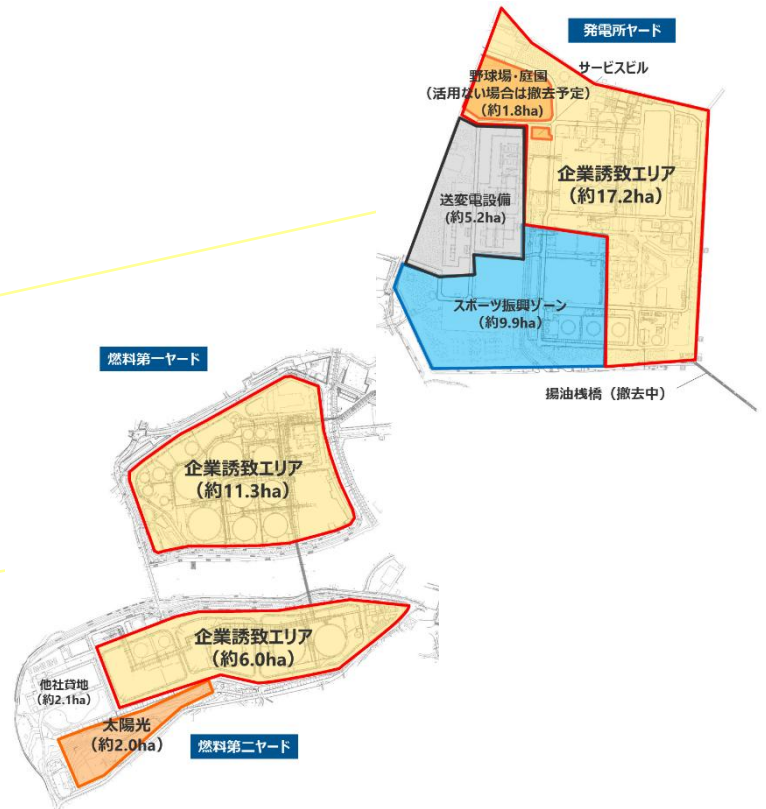
会場MAP QRコード



詳細はこちら

## ■尾鷲港における取り組み

尾鷲港は中部電力尾鷲三田火力発電所の廃止等を受け、平成29年1月1日に不開港になった。中部電力(株)、尾鷲市、尾鷲商工会議所の三者を中心に構成される「おわせSEAモデル協議会」にて尾鷲三田火力発電所跡地再生による地方創生の取組を進めている。



出典: 令和7年4月23日 尾鷲市政策調整課提供資料

令和4年1月には、尾鷲商工会議所を中心に「尾鷲港振興会」を設立し、ポートセールスや企業誘致の取組を進めている。

令和4年3月26日には、「みなとまちづくりフォーラムin尾鷲※」を開催し、尾鷲港を利用したクルーズ振興や物流の取組について情報共有がされた。

〔※主催者：尾鷲港振興会、尾鷲市、尾鷲商工会議所、おわせSEAモデル協議会、三重県、都市環境ゼミナール、中部地方整備局〕



「みなとまちづくりフォーラムin尾鷲」(令和4年3月26日)

# <四日市港の歩み>

|            |   |   |                  |
|------------|---|---|------------------|
| 明治         | 3年 (1870)   | 汽船による四日市～東京の貨客定期航路を開始                           |                  |
|            | 6年 (1873)   | 稲葉三右衛門氏私財を投じ築港(旧港)に着手(明治17年完成)                  |                  |
|            | 32年 (1899)  | 開港場に指定  |                  |
| 大正         | 35年 (1902)  | 四日市港に綿花の輸入開始                                    |                  |
|            | 11年 (1922)  | ニューヨーク航路に続いて南米航路の第一船入港                          |                  |
|            | 13年 (1924)  | 豪州定期航路開始  |                  |
| 昭和         | 14年 (1925)  | 第2号埋立地完成 千歳町と命名                                 |                  |
|            | 3年 (1928)   | 第3号埋立地(石原町)完成                                   |                  |
|            | 27年 (1952)  | 特定重要港湾に指定                                       |                  |
|            | 31年 (1956)  | 塩浜地区に第一石油コンビナート形成                               |                  |
|            | 36年 (1961)  | 港湾計画新規策定  |                  |
|            | 38年 (1963)  | 午起地区に第二石油コンビナート形成                               |                  |
|            | 39年 (1964)  | 石原沖シーバース(海上荷役施設)完成                              |                  |
|            | 41年 (1966)  | 四日市港管理組合設立                                      |                  |
|            | 42年 (1967)  | 霞ヶ浦地先埋立(第三石油コンビナート)起工                           |                  |
|            | 43年 (1968)  | 大協沖シーバース完成<br>豪州シドニー港との姉妹港提携式挙行                 |                  |
|            | 44年 (1969)  | 豪州定期航路コンテナ第一船入港(コンテナ輸送開始)                       |                  |
|            | 45年 (1970)  | 霞ヶ浦地区に第三石油コンビナート形成<br>港湾計画改訂                    |                  |
|            | 46年 (1971)  | 四日市港コンテナ埠頭(株)発足<br>霞ヶ浦地区専用コンテナ埠頭着工(昭和48年5月供用開始) |                  |
|            | 48年 (1973)  | オーストラリアパビリオン霞ヶ浦緑地公園に完成                          |                  |
|            | 52年 (1977)  | ニュージーランド航路コンテナ船初入港                              |                  |
|            | 55年 (1980)  | 四日市港外航定期船寄港促進期成同盟会発足                            |                  |
|            | 57年 (1982)  | 港湾計画改訂  |                  |
|            | 59年 (1984)  | 四日市港築港100周年、開港85周年記念式典挙行                        |                  |
|            | 平成  | 元年 (1989)                                       | 四日市港開港90周年記念式典挙行 |
|            |   | 5年 (1993)                                       | 港湾計画改訂           |
| 8年 (1996)  |   | 四日市港国際物流センター完成                                  |                  |
| 10年 (1998) |   | 港湾計画改訂  |                  |
| 11年 (1999) |   | 四日市港開港100周年記念式典挙行                               |                  |
| 12年 (2000) |   | 第二、第三航路泊地(-14m)完成                               |                  |
| 16年 (2004) |   | 名古屋港とともにスーパー中樞港湾に指定                             |                  |
| 18年 (2006) |   | 霞ヶ浦北ふ頭-14m岸壁供用開始<br>霞ヶ浦北ふ頭コンテナターミナル(第1バース)オープン  |                  |
| 19年 (2007) |   | 北米定期航路コンテナ第一船入港                                 |                  |
| 23年 (2011) |   | 港湾計画改訂<br>国際拠点港湾に指定                             |                  |
| 26年 (2014) |   | 四日市港埠頭株式会社が特別港湾運営会社に指定                          |                  |
| 27年 (2015) | 四日市港埠頭株式会社によるW27コンテナミナルの運営開始  |   |                  |
| 28年 (2016) | 霞北埠頭流通センター着工(民都機構から特定民間都市開発事業(共同型都市再構築業務・港湾)の支援措置を受ける)<br>霞ヶ浦北ふ頭コンテナターミナルにガントリークレーン1基増設 |   |                  |
| 29年 (2017) | 名古屋四日市国際港湾株式会社設立  |   |                  |
| 30年 (2018) | 臨港道路(霞4号幹線)の開通  |   |                  |
| 令和         | 元年 (2019)   | 四日市港開港120周年記念式典挙行                               |                  |
|            | 3年 (2021)   | 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル(W81)整備事業の新規事業化               |                  |
|            | 4年 (2022)   | 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル(W81)整備事業着工                   |                  |
|            | 6年 (2024)   | 四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業の新規事業化                        |                  |
|            | 7年 (2025)   | 港湾計画改訂  |                  |



## 国土交通省中部地方整備局 四日市港湾事務所

<http://WWW.yokkaichi.pa.cbr.mlit.go.jp>

四日市市新正3-7-27


TEL : 059-351-1357

### 交通のご案内

- ・近鉄新正駅下車 徒歩10分

『海とみなとの相談窓口』フリーダイヤル

大いに 良くなれ みなと

 0120-497-370

“海やみなと”の疑問・質問・相談をお待ちしています。